

会社説明資料 旭有機材株式会社

2018年9月26日

(東証第一部 証券コード4216)

1 会社概要 P2~

- 概要 企業情報
- 事業概況
- 旭有機材とは

2 事業概要 P6~

- 管材システム事業
- 樹脂事業
- 水処理・資源開発事業

3 中期経営計画 P28~

4 株式について P31~

- 株価の推移
- 配当性向・配当金

5 参考 P34~

- 足元の状況
- 上期・通期の見通し

1 会社概要

企業情報

- 商 号 旭有機材株式会社
- 東京本社 東京都台東区上野3-24-6上野フロンティアタワー21階
- 延岡本社 宮崎県延岡市中の瀬町2丁目5955番地
- 設立 1945年3月12日
- 資本金 50億10万円
- 上場 東証一部
- 証券コード 4216 (化学)
- 株式売買単位 100株
- 従業員数 1,355名 (2018年3月末現在・連結)
- 年間売上 501億74百万円 (2018年3月末現在・連結)
- 事業所 本社／東京都台東区・宮崎県延岡市
工場／延岡・愛知・広島・栃木
営業所／全国8カ所
- 代表取締役社長 中野 賀津也

3つの事業領域を持つ有機材料メーカー

水処理・資源開発事業

売上高 73億円
営業利益 1.7億円



管材システム事業

売上高 276億円
営業利益 23.5億円

ASAHI AV

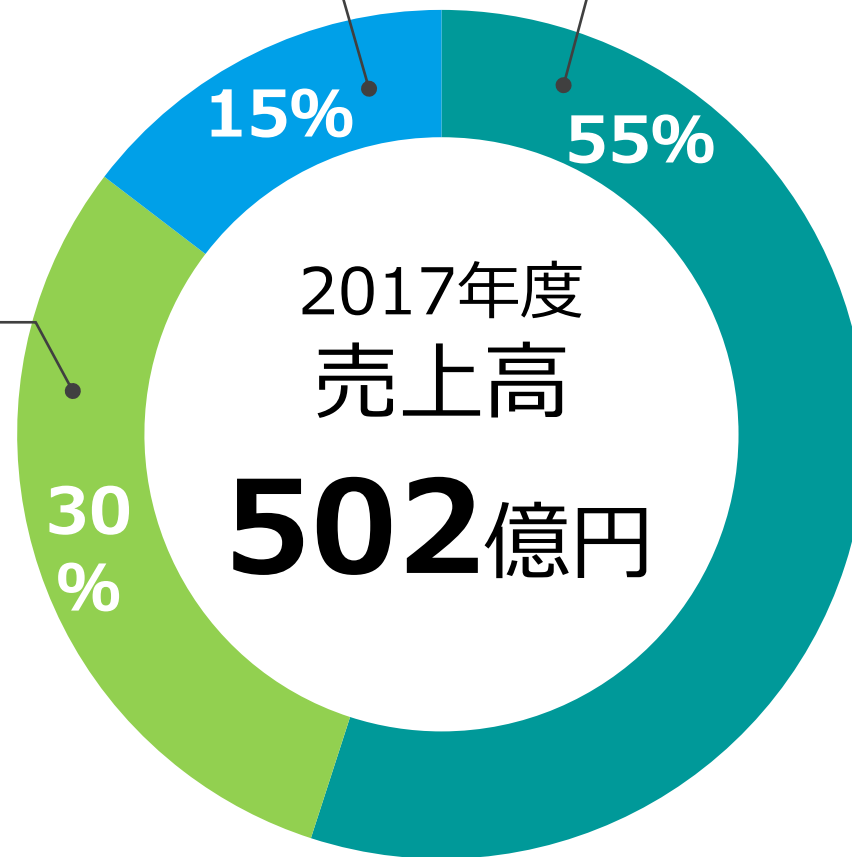


樹脂事業

売上高 153億円
営業利益 8.7億円



AVライト



管材システム事業

樹脂バルブNo.1

ASAHI AV

世界の耐食問題を解決



Think Plastic, Add Value™

樹脂事業

フェノールイノベーション

AV ライト

最適処方方で産業の発展をサポート



水処理・資源開発事業

価値ある資源づくり

DRICO

「水」「地下資源の開発」で環境に貢献



2 事業概要

2-1 管材システム事業

1956

ストップバルブの製造を開始
プラスチック成形としては
世界初の樹脂製バルブ
「ASAHI AVバルブ」
の誕生



1965
ボールバルブ
の製造を開始

1969
バタフライバルブ
の製造を開始



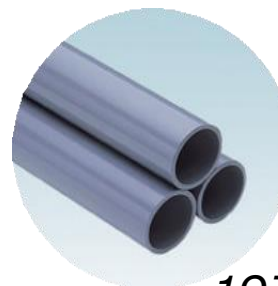
1959
ダイヤフラムバルブ
の製造を開始



2000
Dymatrix シリーズ
の製造を開始



2012
時間差式ミキサー
の販売を開始



1974
北方町で塩ビパイプ
の製造を開始

1945
会社設立



耐食樹脂バルブのパイオニア

豊富な品揃えでお客様のお困りごとを解決

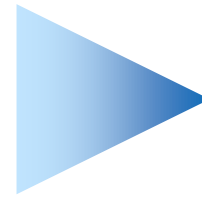
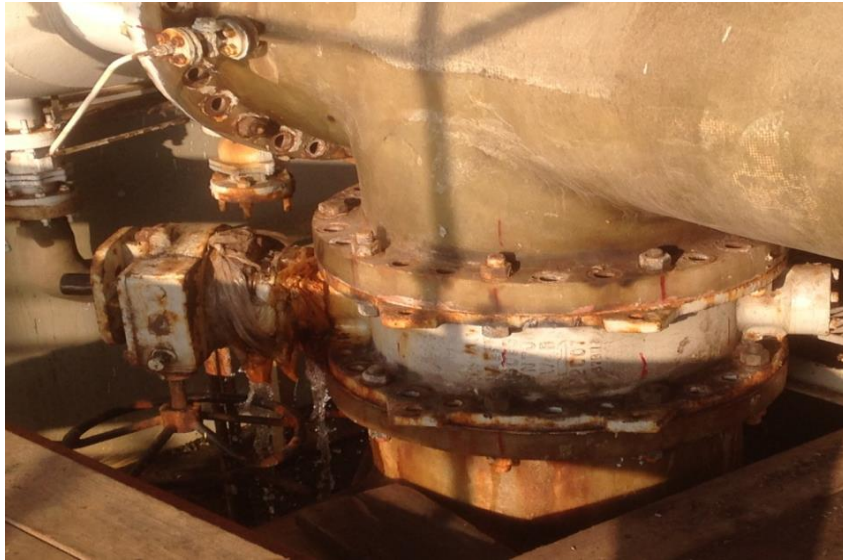
樹脂バルブのパイオニア

お困りごと
海水淡水化プラントでパイプの継ぎ目から水漏れ



樹脂バルブのパイオニア

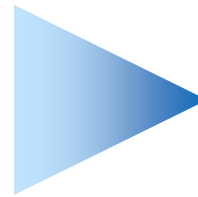
お困りごとの解決
錆びない樹脂バルブ・漏れない樹脂バルブ



海水淡水化事業で金属代替



金属弁



アサヒAVバルブ



事業の強み

1956年 世界で初めて樹脂バルブを製品化
腐食に強い樹脂バルブで世界の産業を支える



製鉄・化学・非鉄金属
酸・アルカリ



水族館・漁業
海水



ASAHI AV



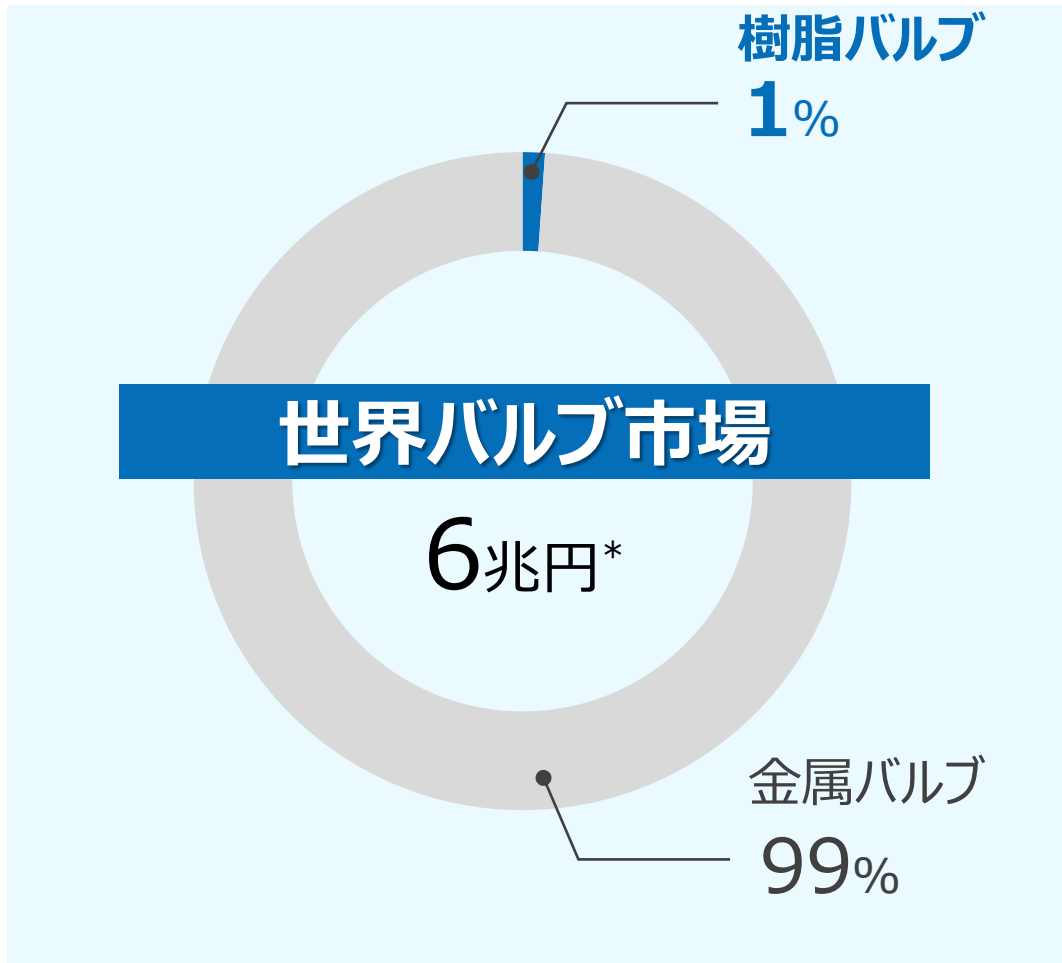
農業
紫外線



半導体
超純水

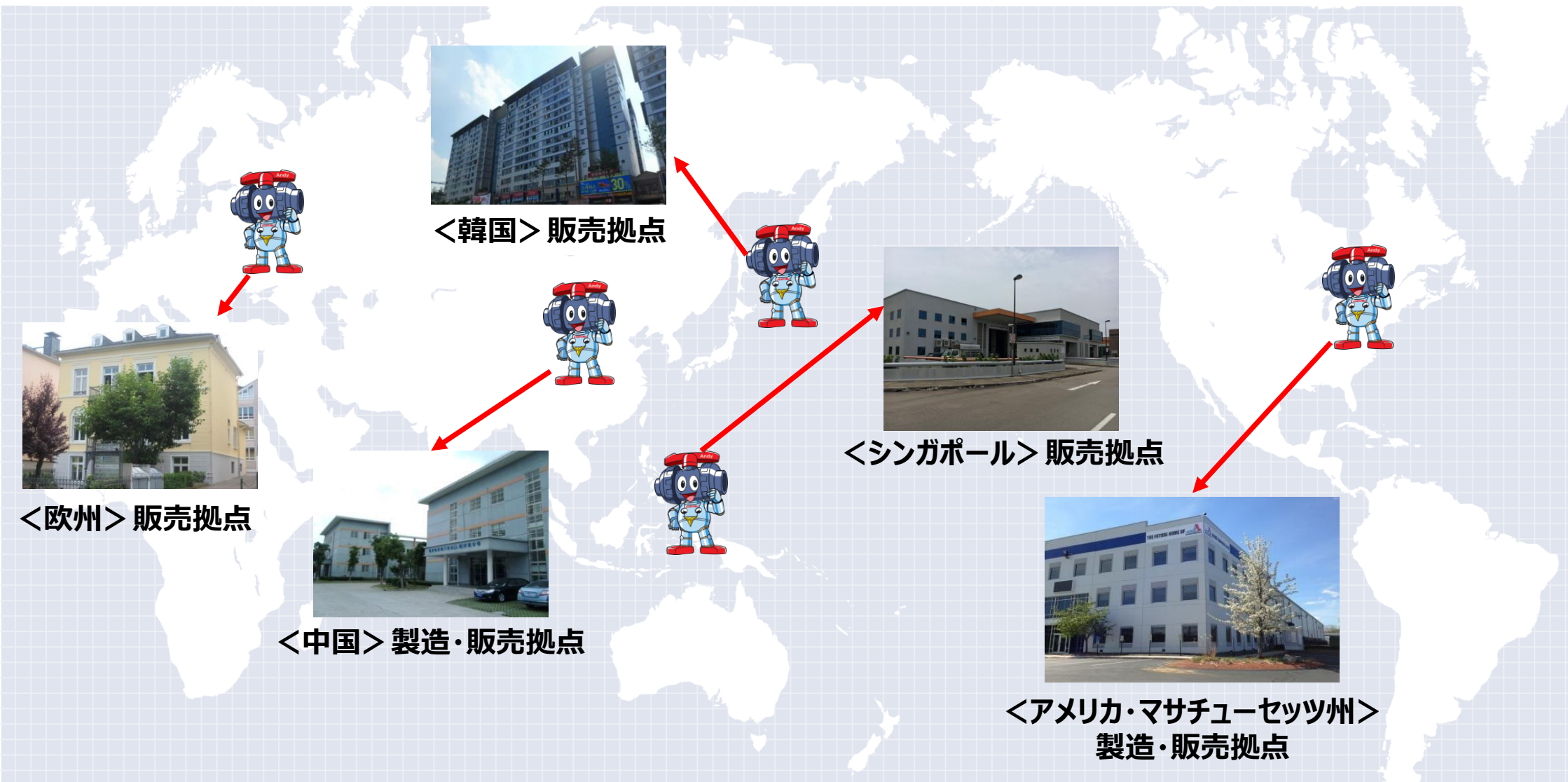
- 事業環境（バルブ市場）

600億円の世界樹脂バルブ市場（当社推計値）のなかで約**15%のシェアを確保**



*データはいずれも当社推計

- グローバルに製造販売拠点を展開・拡大中



※2018年3月末時点

グローバル展開の展望

新設のドバイ拠点をつがかりに、中東・北アフリカ地区でのASAHI AV製品の拡販とマーケットの拡大を目指す

➤ 2018年7月16日ドバイ開所式

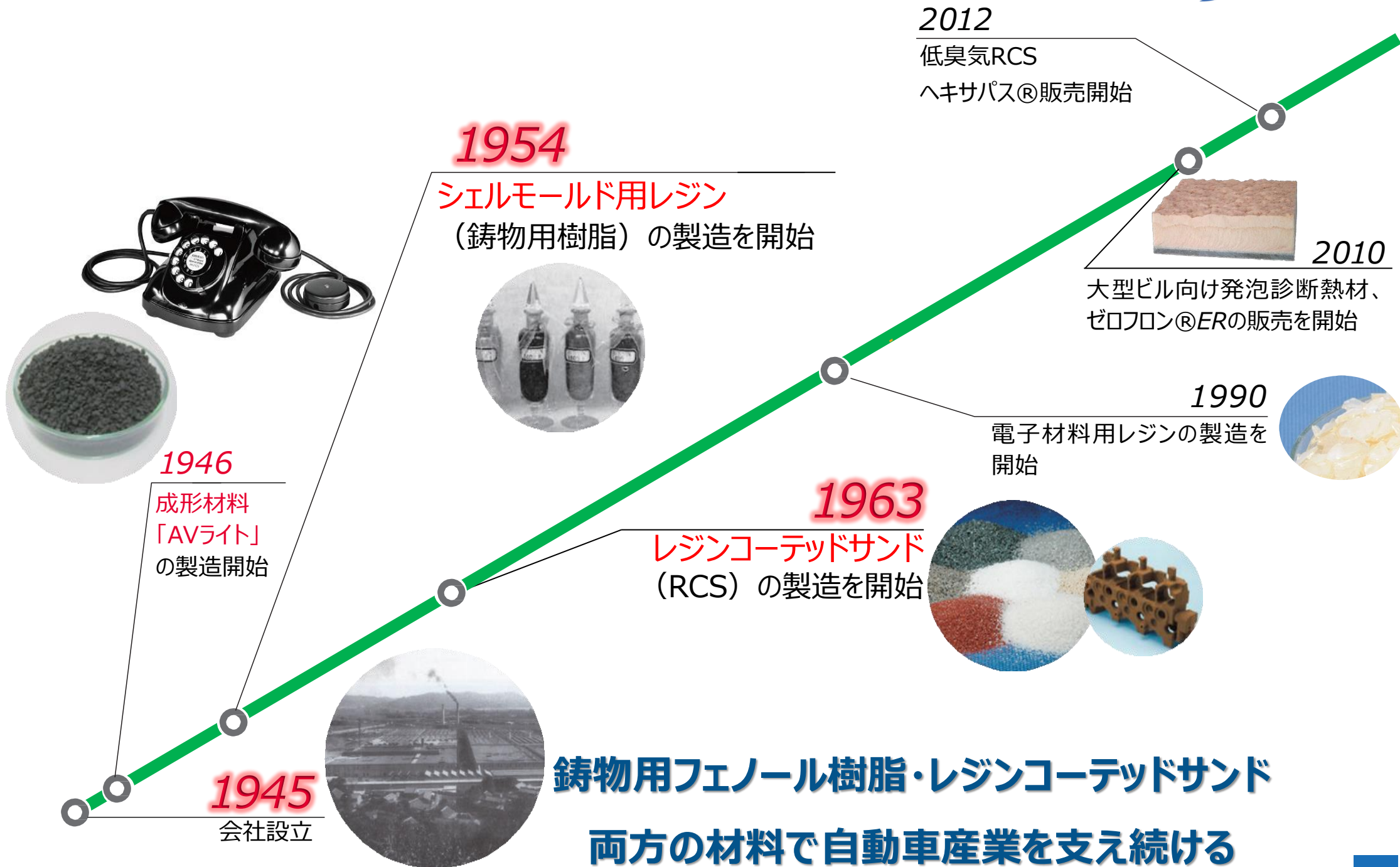


➤ 南アフリカ 準備中

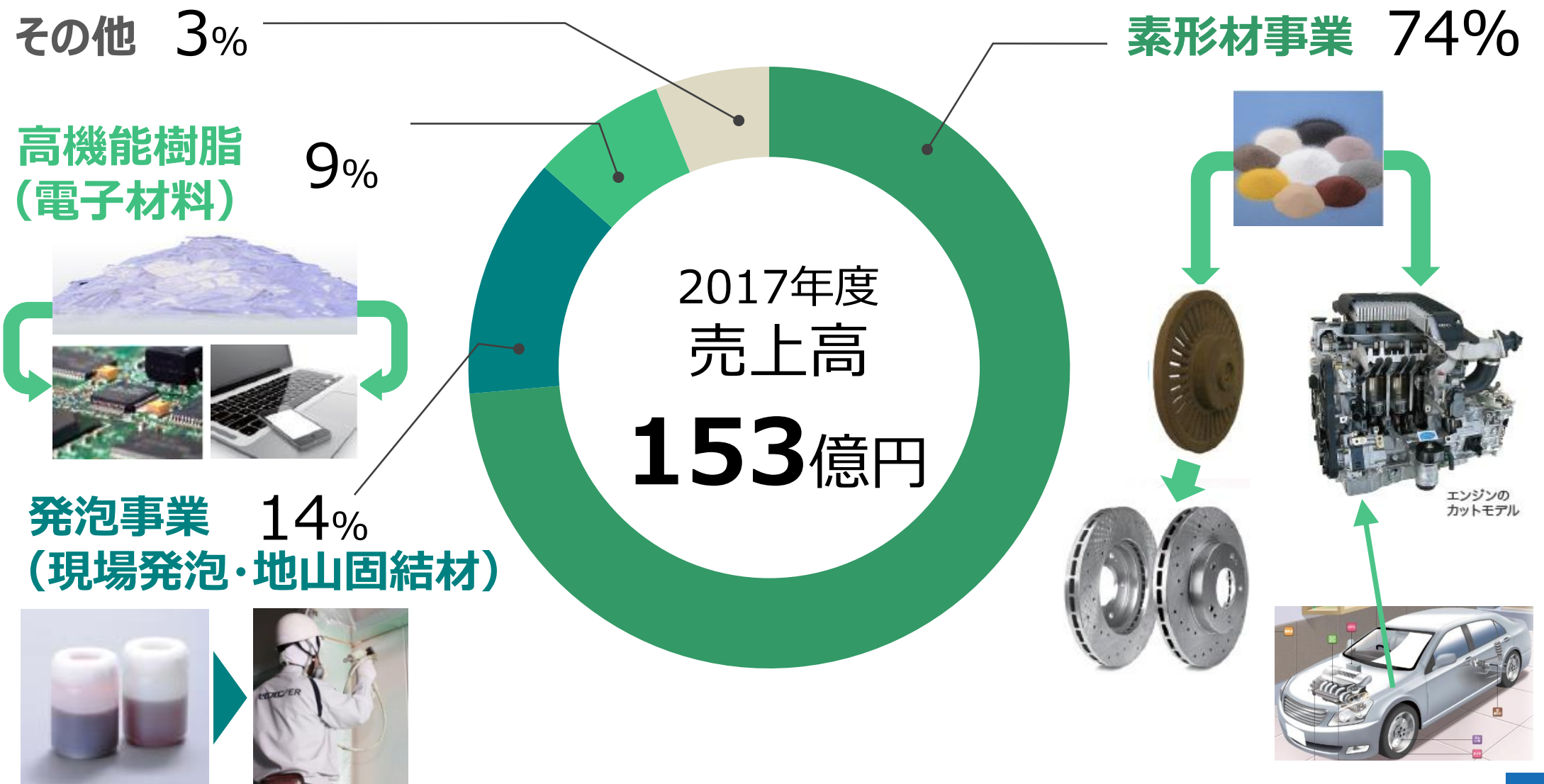


2-2

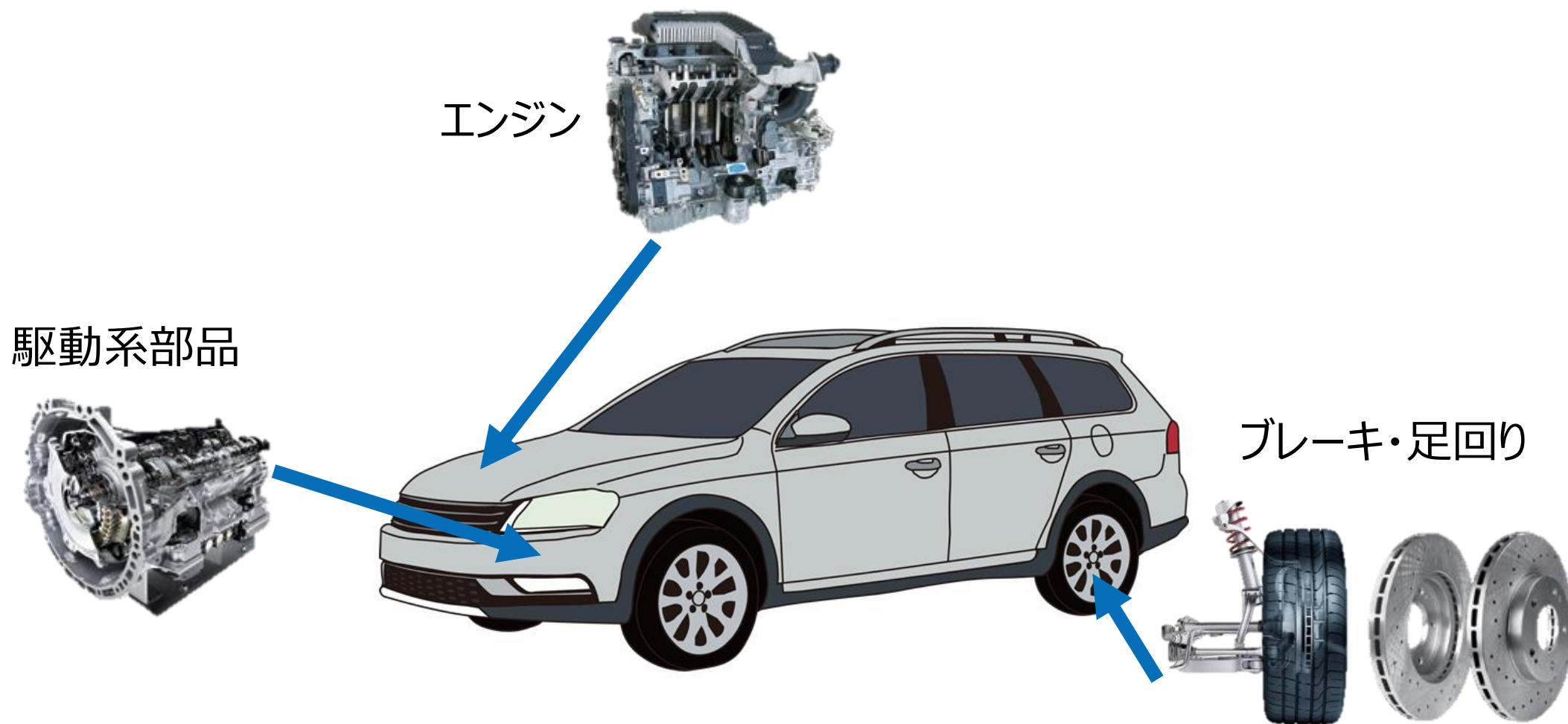
樹脂事業



事業の強み 鋳物用フェノール樹脂・レジンコーテッドサンド両方を製造する**国内唯一のメーカー**

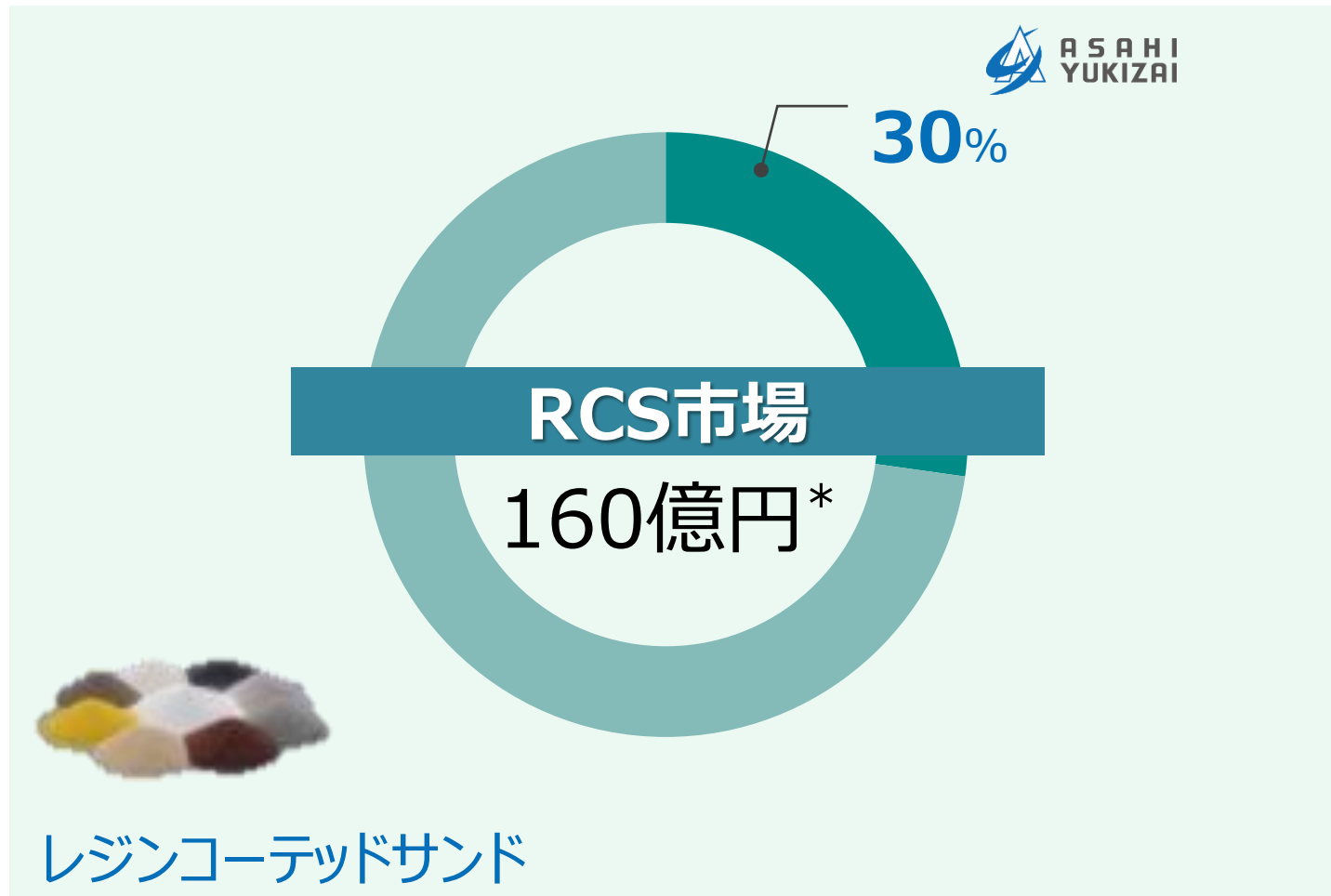


- エンジン、駆動系部品、ブレーキ・足回りの製造に当社のRCSが使用される
- 当社技術力で、より軽量化・複雑化する部品製造を可能に



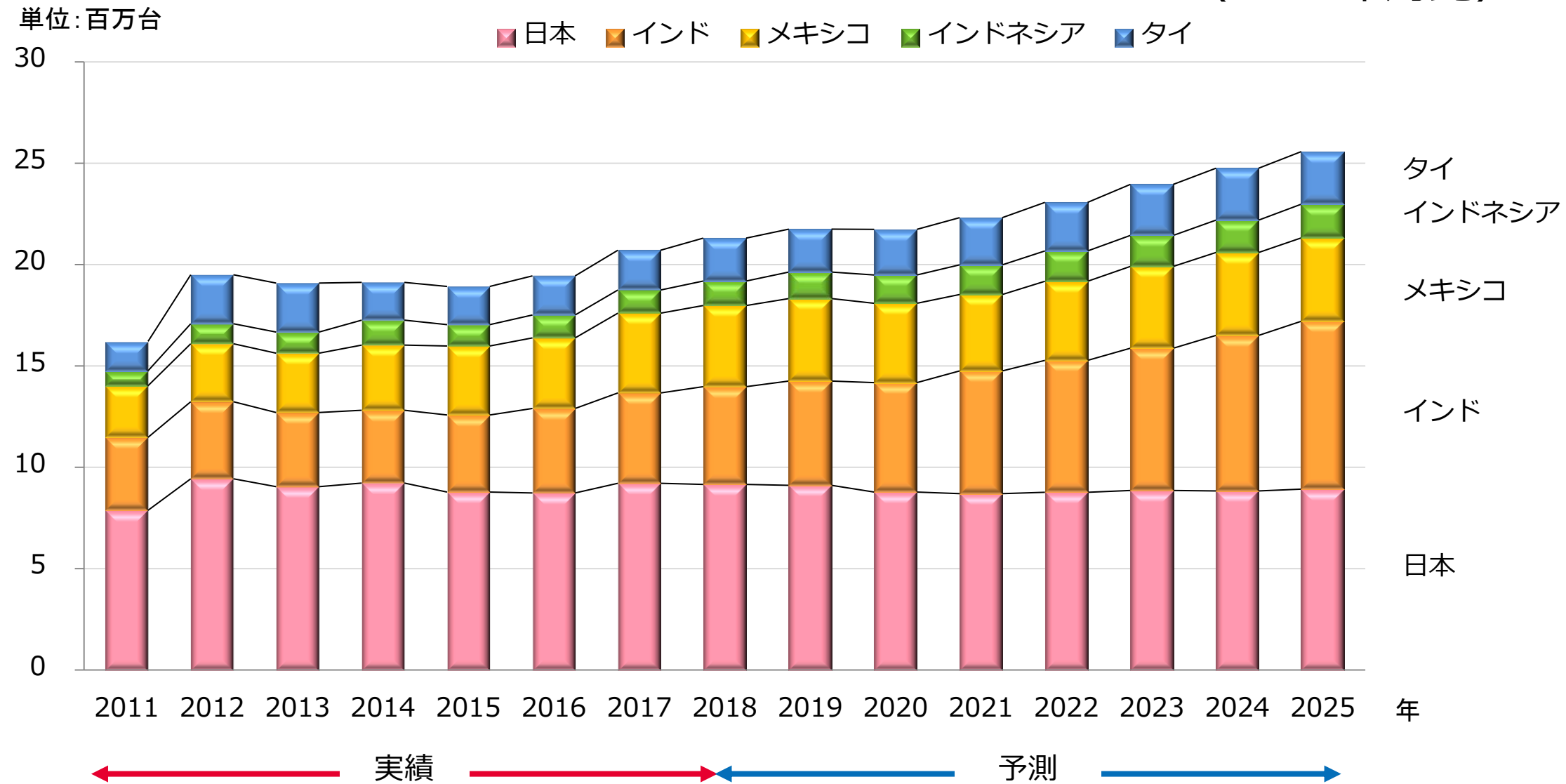
- 事業環境（素形材事業）

160億円の国内RCS市場（当社推計値）のなかで約**30%のシェア**を確保



*データは当社推計
RCS市場には内製RCSを実施しているメーカーは含まない

- 自動車生産台数 国内は微減、インドは約2倍、メキシコは微増の予測
(2017年対比)



出展：©2018 IHS Inc.

● 素形材事業の海外展開

世界の自動車生産拠点に順次進出。中国と日本の機動的な生産体制が安定化



*タイのPIM社はRCS事業の業務提携のみ

2-3 水処理・資源開発事業

1968
浄化槽事業化



1952

地熱発電用蒸気井
を日本初掘削

1956
天然ガスの供給を開始

1950

湘南ドリリング株式会社を設立

2016

環境薬剤事業を旭化成クリーン化学より移管

2013

旭有機材の子会社となる

水処理・資源開発事業としてスタート



2000

中水事業スタート



地下資源開発・日本での地熱開発のパイオニア
水に関するトータルエンジニアリング企業

事業の強み

価値ある水づくりを追求、**地下資源開発のパイオニア**
1950年創業、水を通して社会に貢献し続ける

維持管理・メンテナンス事業 22%

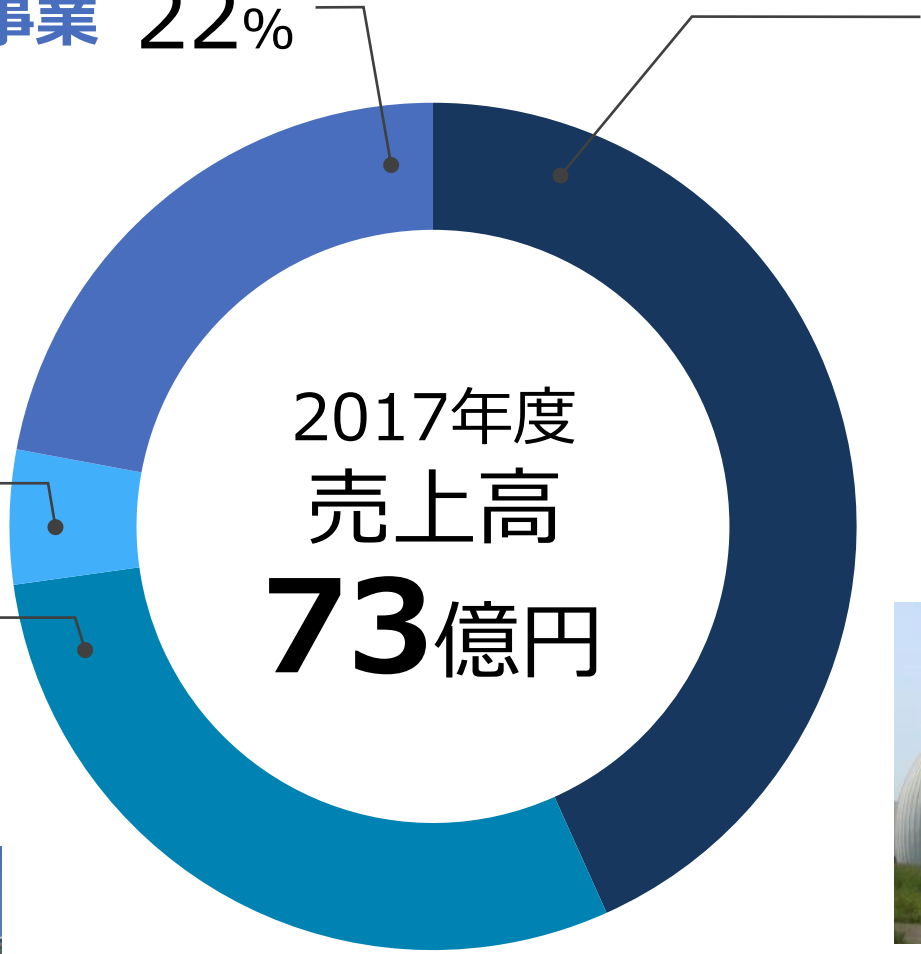


水処理事業 43%



環境薬剤事業 5%

資源開発事業 30%



水処理事業

上下水・中水処理システム 産業排水処理システム



上水（膜ろ過施設）



下水（反応槽・最終沈殿池設備）



中水（羽田空港）



産業排水（食品工場）

資源開発事業

温泉開発・地熱開発



九州電力 山川地熱発電所



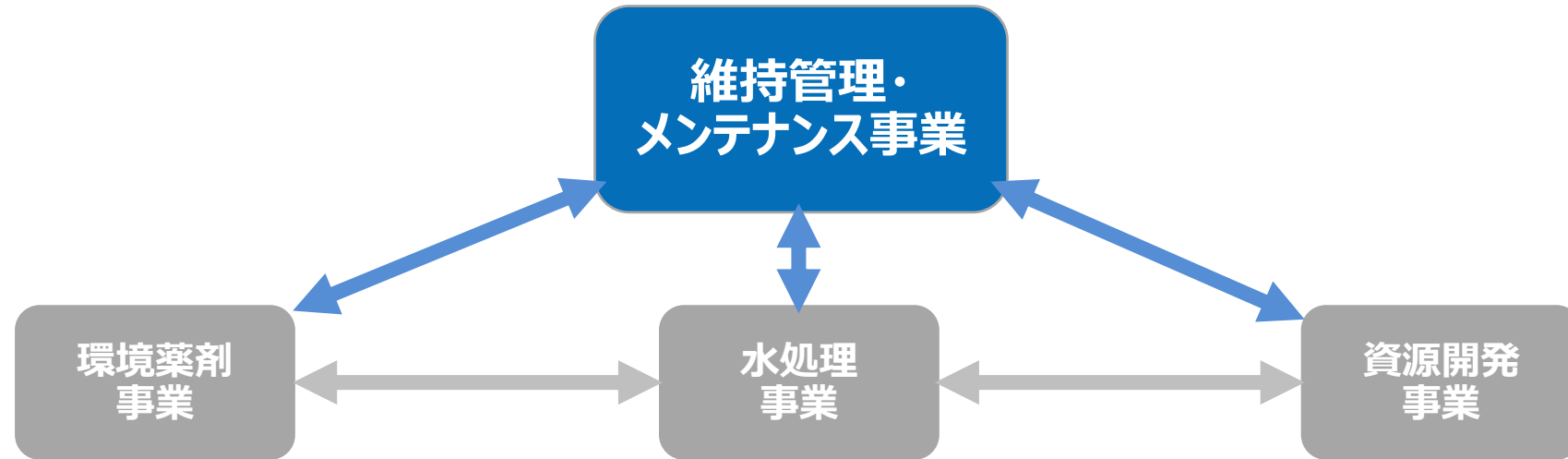
温泉掘削および
温泉集中管理システム



地熱井（噴気試験）

維持管理・メンテナンス事業

水処理施設の**維持管理サービス**、改修・改良工事



環境薬剤事業

水処理薬剤、消臭剤、汚泥減容剤等の販売



使用前

水処理改善薬剤 使用



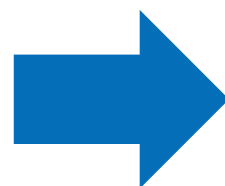
使用後

3 中期経営計画

- 設備投資計画は総額（200億円）に変更なし
⇒ 管材工場リビルドは2020年以降に持越。その分、既存設備更新を優先

2020年度計画	
売上高	600 億円
営業利益	35 億円
ROE	5% 以上

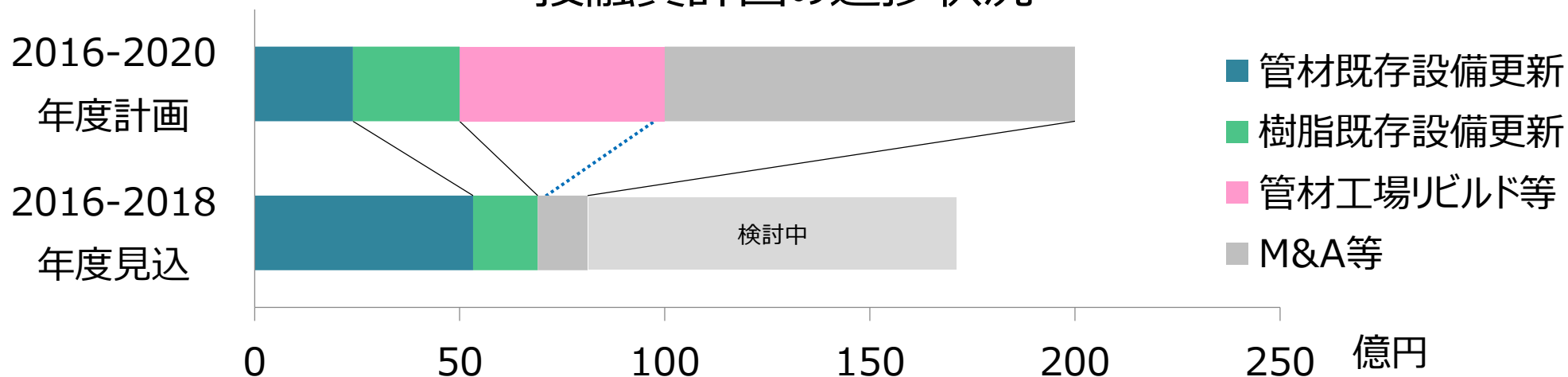
2016年6月公表値



2020年度計画	
売上高	630 億円
営業利益	42 億円
ROE	7% 以上

2018年5月修正値

投融资計画の進捗状況



売上高 **630**億円 営業利益 **42**億円 ROE **7%以上**

樹脂事業

売上高 **175**億円
(17年度実績) 153億円

海外売上比 **30%**

AV ライト

管材システム事業

売上高 **340**億円
(17年度実績) 276億円

海外売上比 **40%**

ASAHIAV

水処理・資源開発事業

売上高 **85**億円
(17年度実績) 73億円

DRICO

事業領域拡大 [M&A]
各事業領域の周辺拡大を目指す

主要戦略

商品戦略改革（お客様目線・スピードアップ・ニッチトップ）

海外売上の拡大（商品戦略・在庫・人財）

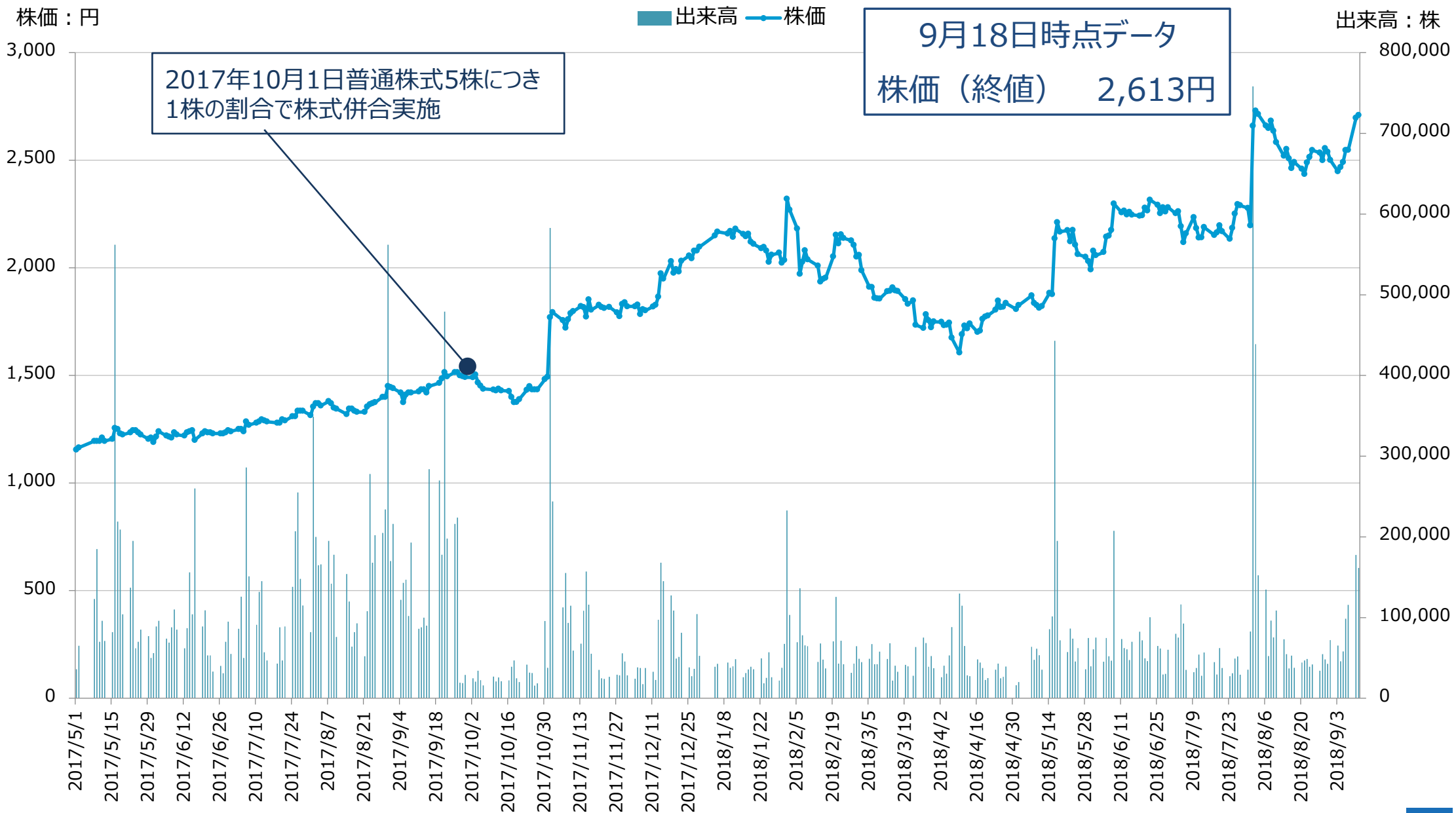
サプライチェーン改革（国内外の商流・物流改革）

ものづくり革新（生産性向上・スマートファクトリー）

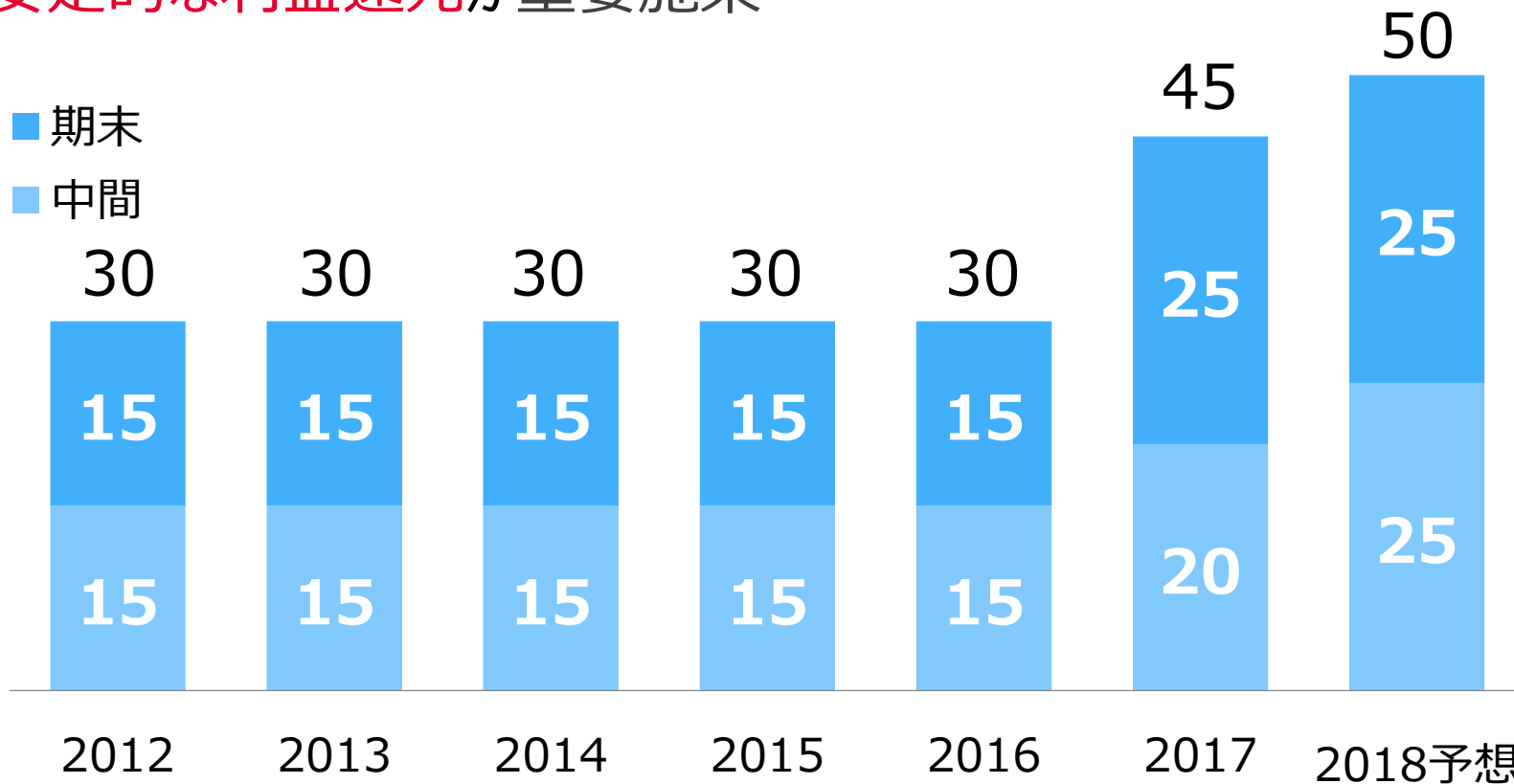
全社レベルでのコストダウン

4 株式会社について

● 株価と出来高の推移



● 安定的な利益還元が重要施策



配当
利回り*

1.9%

PER
(予想)*

13.1倍

PBR
(実績)

1.2倍

配当性向	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018予想
	△22.6%	58.4%	93.9%	62.0%	52.7%	31.0%	25.2%

※2017年10月1日を効力発生日として普通株式 5株につき1株の割合で株式併合実施
 ※過去分含め株式併合後ベースに換算

*配当利回り・PER（予想）は2018年9月18日終値で算出

5 参考（足元の状況と通期見通し）

● 17年度に引き続き 増収増益

単位：百万円





連結	17年度	18年度	前年同期		18年度	第1Q
	4-6月期	4-6月期	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	10,293	13,253	+2,960	28.8%	57,500	23.0%
営業利益	358	706	+348	97.0%	3,900	18.1%
経常利益	389	869	+480	123.4%	4,100	21.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	323	1,377	+1,054	326.7%	3,800	36.2%
一株当たり 四半期純利益	16.84	71.91	55.07			

※一株当たり四半期純利益は前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出（単位：円）

主な増減要因

営業利益	管材システム事業の好調 （アサヒAVバルブ、ダイマトリックス製品等）	+408百万円
営業外収益	・為替差益	+114百万円
特別利益	・負ののれん発生	約700百万円

- 売上高・営業利益共に
管材システム事業が好調
- 中期計画施策が寄与

		17年度 4-6月期	18年度4-6月期		
			実績	増減	増減率
管材システム 事業	売上高	5,661	8,142	+2,481	+43.8%
	営業利益	312	720	+408	+131.0%
	営業利益率	5.5%	8.8%	+3.3%	
樹脂事業	売上高	3,599	4,035	+436	+12.1%
	営業利益	270	137	△133	△49.2%
	営業利益率	7.5%	3.4%	△4.1%	
水処理・ 資源開発事業	売上高	1,032	1,077	+44	+4.3%
	営業利益	△215	△ 140	+75	-
	営業利益率	△20.8%	△ 13.0%	+7.8%	
全社	売上高	10,293	13,253	+2,960	+28.8%
	営業利益	358	706	+348	+97.0%
	営業利益率	3.5%	5.3%	+1.8%	

*予想値は7月31日に上方修正 単位：百万円

	17年度実績		18年度予想*		増減額	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	21,503	50,174	28,000	57,500	6,497	7,326
営業利益	1,153	3,362	1,700	3,900	547	538
経常利益	1,287	3,402	1,900	4,100	613	698
親会社株主に帰属する 当期純利益	976	2,785	2,100	3,800	1,124	1,015 <small>単位：円</small>
一 株 当 た り 当 期 純 利 益	50.91	145.31	109.66	198.43	58.75	53.12
一 株 当 た り 配 当	20	45	25	50	5	5

※2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合実施

※一株当たり当期純利益・配当は前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出した数値

注意事項

本資料における予想・見通しは、資料作成時点において入手可能な情報により弊社が判断したものです。将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。